

- 1 運営理念 「人づくり・夢づくり」
- 2 教育目標 「自ら未来を拓き、新たな時代をつくる板津人（びと）の育成」

3 目指す生徒像 「9年間の学びを通して願う子供の姿＝板津人（びと）」

- ・自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒（主体性）
- ・多様性を尊重し他者と協働し、よりよく課題を解決できる生徒（他者理解・協働性）
- ・社会に積極的に関与し、貢献したりできる生徒（社会参画）
- ・自己の生き方を考え、失敗を恐れず夢や目標に挑戦していく生徒（自己理解・挑戦）

合言葉

～誇り高き板津人に～
「自ら」「共に」「挑む」

5 魅力ある学校づくりキーワード

「板津カラーに学校を染めよう！ ～ワクワク創出 生徒まんなか 板津中！」

板津カラー 基本色は4色 + あなた色



【主体性】の絵の具



【協働性】の絵の具



【社会参画】の絵の具



【挑戦】の絵の具

◎生徒が主役 描くのは生徒！

◎教師は伴走者 = 活躍の場を仕掛け、生徒の思いや良さを引き出す

6 目標実現のために

(1) 組織的な学校運営 / 持続可能な教育体制づくり <チーム板津中！>

- ・一人を抱え込まない相互補完体制の構築。教職員、専門スタッフ（スクールカウンセラー他）、保護者・地域の連携。
- ・適切な報連相。情報交換、情報共有、共通理解によるベクトルを揃えた共通実践。
- ・親和的な職員室風土の醸成。同僚性を高め、困った時はお互い様の精神で「頼る」「頼られる」。
- ・校内研修、OJTを活用した若手の早期育成。
- ・業務改善、校務DXの推進。教員のやりがいと働き方のバランスを大切にしたウェルビーイングの向上。

(2) 確かな学力の定着 / 主体的・対話的で深い学びの実現

- ・生徒がねらいを持って学び方を選択できる授業。必要感のある「個別最適な学び」「協働的な学び」。
- ・ICTを効果的に活用した授業についての校内研修、教科部会の充実。
- ・校務DXを推進し、その利便性の実感や活用方法を習得することによる授業でのICT活用能力の向上。
- ・思考を広げ、理解を深めるための基礎基本の定着。

(3) 豊かな心の育成 / 多様性の包摂

- ・特別活動や道徳、行事の充実による生徒のコミュニケーション能力の向上。
- ・自他の良さを認め、多様性の理解と尊重する心の育成。
- ・別室「ふらっと」（校内教育支援センター）を活用し、教室に入ることによる不安を感じる生徒が段階を踏んで学校生活を送れるように合理的配慮の実施。学びたい時に学ぶことができる場の設定。
- ・多様な大人と接する機会を創出また探究的なキャリア学習による社会貢献や生き方についての深い理解。

(4) 健やかな心身の育成

- ・保健体育の授業、体育的行事、部活動などを通じて、健全な身体と粘り強く物事に取り組み取り組む心の育成。
- ・情報社会におけるデジタルリテラシー教育の推進。適切なメディアとの付き合い方学習。
- ・SOSの出し方教育。生徒の悩みを適切に把握。専門機関、保護者とも連携した組織的な教育相談体制の確立。

(5) 家庭・地域との連携

- ・生徒の活躍が家庭でも話題に上がるように各種頼りやHP等を通じた学校の情報発信を推進。
- ・PTA活動などを通して、家庭でも挨拶や交通ルールの遵守などへの意識を高める取り組みの推進。